

「のびのび」「賢い子」を育てる

ウイズキッズ  
春号

特別付録 高濱正伸  
先生監修  
算数・国語・社会  
学習ポスター

2012 春号  
定価680円

# AERA with Kids

保存版

## 進学・受験の 悩み

公立？ 私立？  
公立中高一貫？

# 70

全て  
答えます！

長く続く！学力が伸びる！  
通信教育の  
使い方

新連載 公立中高一貫校  
受検に備える！  
第1回 適性検査で求められる力

新連載 親野先生の  
お悩み解決 親力養成講座



齋藤孝流

子どもの読解力を伸ばす  
名作の読み方

「がんばりすぎない」が飛躍につながる  
朝学習のススメ

子どもが本音を話せるように—  
「聞き上手」な親になろう！

楽しい！面白い！  
算数力を伸ばす親子ゲーム！

これさえ知っていれば悩み無用！

## 「新小一」 親の心得





公立？私立？

# 進学・受験の

# 全て

親なら誰もが気になる子どもの進学問題。もし中学受験するなら、お金のことも気になるし、「受験はまだ関係ないわ…」と思っている家庭でも公立中学に入れば高校受験はあつという間です。子どもの進学や受験について考えることは、「子どもにどう育ててほしいか」を考えること。早いうちから考えて損はありません。そこで今回は、読者から寄せられた進学・受験に関する素朴な疑問、なかなか人に聞けない疑問に本誌でおなじみの識者の方々を総動員してズバリ答えてもらいました！

取材・文 柿崎明子、原ユキミ、深津チヅ子 イラスト わたなべちこ  
Text Meiko Kakizaki, Yukimi Hara, Chizuko Fukatsu Illustration Chiiko Watanabe

私たちがお答えします(登場順)



**安田 理**  
Osamu Yasuda  
安田教育研究所代表。雑誌編集長などを経て、安田教育研究所設立。講演、執筆活動で活躍。著書に『中学受験 わが子をつぶす親、伸ばす親』(NHK出版)など。



**森上展安**  
Nobuyasu Morigami  
森上教育研究所代表。中学受験に関する調査・分析を行う。親向け講習会(oya-skill.com)をほぼ毎週開催。著書に『10歳の子の選択 中学受験の教育論』(ダイヤモンド社)。



**高濱正伸**  
Masanobu Takahama  
年中～小学生対象の学習塾「花まる学習会」と小3～中3対象の進学塾「スクールFC」を擁する「花まるグループ」代表。講演会のほか、テレビ出演も多い。



**西村則康**  
Noriyasu Nishimura  
塾講師を経て、塾や受験のアドバイスをを行う「塾ソムリエ」として活躍するプロ家庭教師。著書に『自分から勉強する子の育て方』(実務教育出版)など。



**藤川 太**  
Futoshi Fujikawa  
ファイナンシャルプランナー。家計診断などをする「家計の見直し相談センター」代表取締役。「マイホーム、買ったほうがトク!」(朝日新書)など著書多数。



公立中高一貫？

# 悩み70 答えます

AERA with Kids  
春の  
総力特集

アンケートについて  
特集内に掲載している、統計データや親の声などのアンケートは、調査会社マーシュを通じインターネット上で実施した。  
調査対象：中学1年～大学院生の子を持ち、子どもが中学受験(公立中高一貫校受験含む)を経験した全国の母親300人/調査期間：1月18日～23日  
(株)マーシュ A\_info@marsh-research.co.jp



**石原賢一**  
Kenichi Ishihara  
駿台予備学校情報センター長。同予備学校で西日本教務部学務担当、神戸校舎長などを経て、2006年より現職。最新の大学入試状況を様々な角度から分析する。



**鳥居りんこ**  
Rinko Torii  
エッセイスト。長男の中学受験体験をつづった『偏差値30からの中学受験合格記』のほか『これが中学受験ガマス!』(いずれも学習研究社)など著書多数。



**若泉 敏**  
Satoshi Wakaizumi  
スクールETC代表。私立小学校教諭、大手進学塾講師を経て、1982年スクールETC開設。著書に『中学受験 中高一貫校のすべて』(ダイヤモンド社)など。



**長谷川一夫**  
Kazuo Hasegawa  
市進総合研究所情報出版室長。市進受験ガイド編集長。国私立中学受験、公立中高一貫校、高校入試などの情報に精通し、マスコミにも多数登場。



**藤原和博**  
Kazuhiro Fujihara  
杉並区立和田中学校前校長。2003年から5年間、都内では義務教育初の民間人校長として杉並区立和田中学校校長を務める。近著に『坂の上の坂』(ポプラ社)。



# 中学進学前の悩み

そろそろ子どもが進路が気になってきた。

## Q1 いったいどんな進路があるの？

### 中学進学段階で五つの選択肢が

### どの進路でも悩みはついてくる！

受験(検)する

小学校

受験しない

公立中だと私立より学力差がつく？  
Q51へ

私立中高一貫校に通わせるための世帯年収は？  
Q6へ

私立  
中高一貫校

国立大学  
付属中学

通学区域の  
公立中学

私立中に行っただけでドロップアウトしそうな場合は？  
Q23へ

学校の建学精神に基づき、人間教育を行っている。根本的な教育方針が変わらないので、子どもに合っているなら6年間預けても大丈夫、という安心感がある。中堅以下でも大学受験指導に力を入れている学校が多い。

母体となる大学の教育実習や教育研究活動に協力する実験校としての側面を持つ。成績によっては、付属高校へ進学できない場合もある。母体大学へもくわすかな例を除いて優先進学はできない。難関大学への進学実績が高い学校が多い。

大多数の小学生が進む、最も一般的な進学先。多くの自治体では、住民基本台帳(住民票)の住所で通学区域を設け、就学すべき学校を指定している。「学校選択制」を実施している自治体では、通学区域外の公立中学に進学することも可能。

「公立中学にするか、受験が必要な私立や国立、公立の中高一貫校を選ぶか。一般的に受験の準備は小学4年生には始まりますから、12歳ではなく、10歳の段階で進路を決める時代なのです」と、中学受験に詳しい安田教育研究所の安

適性検査にはどんな問題が出るの？  
Q40へ

公立  
中高一貫校

6年間を完全に一貫して教育する「中等教育学校」、高校が中学を併設し、高校からも入れる「併設型」などがある。一般の公立中学と同様に授業料が無料にもかかわらず、私立なみの教育をしているところも多く、近年高い人気に。

公立中高一貫校の人気の理由は何？  
Q36へ

学校選択制の  
公立中学

複数の学校の中から進学先を選択できる制度。選択方法は自治体によって異なるが、自治体の学校の中から自由に選べる「自由選択制」、指定した地域や隣接区から選択できる「ブロック制」などがある。

今の高校受験ってどうなってる？  
Q56へ

中高一貫校の高校

国公立・私立高校

中高一貫で友達と合わなかったときは？  
Q15へ

受験なしで進学

……

国立大学付属中学で付属高校を持たない場合や、別の高校に進学を希望する場合などは、高校受験をする。

受験する

推薦入試やAO入試なら大学合格は楽？  
Q65へ

受験なしで進学

受験する

受験する

系列大学

国公立・私立大学

就職に強いのはやっぱり理系学部？  
Q70へ

田理さんは言います。子どもが通う塾の性格が、進路を決める大きな要因になることもあります。

「地元の補習塾に通っているなら、そのまま公立中に進む可能性が高いですね。いわゆる大手進学塾に通っているのなら、周りに影響されて中学受験をすることになるでしょう」(森上教育研究所・森上展安さん)

地元のいろんな子どもたちと共に、たくましく成長できる公立中学、独自の建学の精神と教育理念を持つ私立中高一貫校、学校ごとに特色を打ち出し、安い学費で大学進学実績を出しつつある公立中高一貫校。どの学校にもそれぞれに魅力があります。

しかし、こうした学校の良さを十分に生かした進路選択をしていないケースもある、と独自の教育方針でテレビなどでも注目を集めている、花まる学習会代表の高濱正伸さんは警鐘を鳴らします。

「進路選択は、「わが子をどう育てたいから、この学校を選ぶ」という視点が一番大切です。親の見えで学校を決めたり、偏差値など目先の数字にとらわれすぎず、何が子どものためになるのかをじっくり考えて進路選択をしてほしいですね」(高濱さん)

太線の矢印は一般的な進路、破線の矢印は少数の進路。ここにあげた進路は、モデルケースであり、厳密にはこの限りではない。



# 中学受験する？ しない？

そもそもみんな何を目的に受験しているの？

そもそもみんな何を目的に受験しているの？

## Q2

中高一貫校・公立校それぞれの、  
メリット、デメリットは？

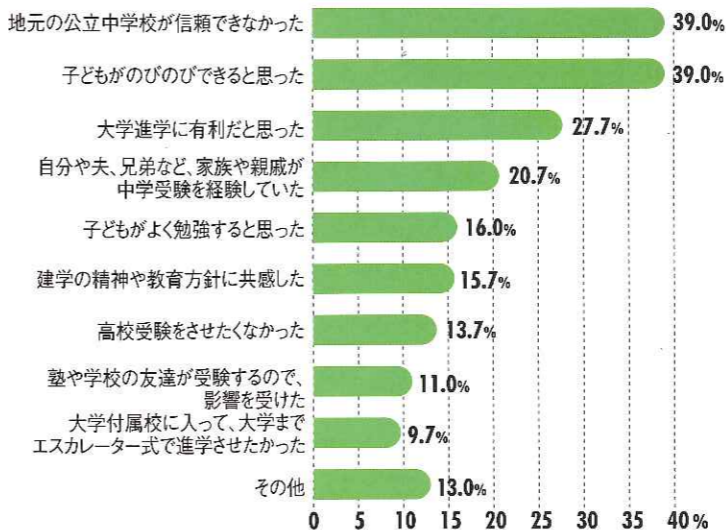
中高一貫校は多感な6年間を  
過ごした仲間が一生の財産に

中高一貫校のメリットは、公立にはない充実した教育環境(18ヶ月19ページ参照)があげられますが、子どもにとって一番のメリットは、6年間を一緒に過ごす仲間の存在でしょう。思春期という多感な時期に、悩みや喜びを共有した仲間が、一生の財産になります。教育方針がはっきりした私立であれば、人格面でも重要な基盤が形成され、私立は先生の異動がないこともメリットのひとつ。卒業しても訪ねれば、顔なじみの先生が迎えてくれる場所があることは、心のよりどころとなります。その反面、人間関係が固定しやすい、というデメリットもあります。成績がいつも下のほうだと自己肯定感が持てなかったり、「あいつは(こういうやつだ)」というレッテルを貼られると、なかなかリセットしにくいことも。中高一貫に進学する場合、クラス替えなどで集団が変わるシステムがあるか、調べてみるとういでしょう。また、高校受験がないので、学習面で「中だるみ」になる子どもも少なくありません。

公立中に進学した場合は、偏差値で切られた集団でないのに、同じクラスの中に多彩な人間がいることが最大のメリット。高校受験をすることになりますが、中学受験は親の意向で受験校が決まることが多いのに対し、高校受験では、本人の意志で受験校を決めることができるでしょう。本人の望んだ環境に3年後に切り替えられることは、メリットということもできます。(森上さん)

## 中学受験をした理由は？

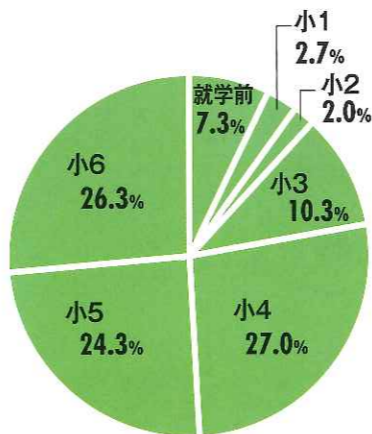
(複数回答)



大切な思春期を6年間という長いスパンで過ごせることが一貫校の大きなメリットと考え、受験を決める人が多いようです。また、公立中学への不信感も相変わらず強いことが明らかに

## 中学受験を決めた時期は？

進学塾の受験コースが本格的に始まる4年生から受験を決めた人が多い。5、6年生になって決めた人たちも半数近くいる



中高一貫校のメリットは、公立にはない充実した教育環境(18ヶ月19ページ参照)があげられますが、子どもにとって一番のメリットは、6年間を一緒に過ごす仲間の存在でしょう。思春期という多感な時期に、悩みや喜びを共有した仲間が、一生の財産になります。教育方針がはっきりした私立であれば、人格面でも重要な基盤が形成され、私立は先生の異動がないこともメリットのひとつ。卒業しても訪ねれば、顔なじみの先生が迎えてくれる場所があることは、心のよりどころとなります。その反面、人間関係が固定しやすい、というデメリットもあります。成績がいつも下のほうだと自己肯定感が持てなかったり、「あいつは(こういうやつだ)」という

## Q3

地元の公立中学に行く場合、  
より評判のいいところへ  
越境入学できる？

学校選択制であれば可能。  
越境による問題点も

越境は、行きたい学校を選べる学校選択制をとっている自治体であればまったく問題がありませんが、そうでない場合は、定められた学区内に住民票がないと基本的にはできません。選択制の内容も自治体によって異なり、東京であれば港区や中央区など、小学校の生徒数が減っているところは、親の勤務先が近くにあるなどの条件を満たせば、他の区から越境できる場所もあります。学校選択制でも、隣接区から選べるブロック制をとっている自治体もあります。

ただ、学校選択制による問題も出てきています。希望者が特定の学校に集中しすぎることもありますが、他の学区の中学校に行っていると近所に友達ができず、地域の行事に参加しづらいなど、子どもの成長にはマイナスではないかと言われるようになりました。また、「あの中学は進学実績がいい」などのうわさに過度に振り回されるのも禁物です。(安田さん)

## Q4

中学受験するためには  
どれぐらい勉強が必要？  
子どもの心身の成長に  
影響はない？

主体的にやるならいいが  
親が追い立てて  
やらせるのは危険

私立中学受験のためには、一般的に小学4年生から塾に通い、塾から出される大量の宿題をこなさなければなりません。大事な子どもの主体性で、「自分でやるぞ」と思っている子は大丈夫でしょう。でも「お母さんの期待に添わなきゃ」というプレッシャーが強すぎて心身ともに疲れが出てくる子は、受験そのものを考え直した方がいいかもしれません。



私の教え子の中には中学受験をやめて高校入試に切り替え、結果によかったと思える子も多いです。中学に入ってから心身ともにグッと成長する子は特にそう。親は情報にあおられずに子どもをよく見てほしい。人間としてバランスよく成長する受験はいが、入ることだけを指すのはダメ。親が追い立ててやらせれば、結構合格できてしまうんです。そういう意味でのやりすぎは危険ですね。燃え尽きてしまうこともありますし、無理をすれば心身に必ず影響があります。(高濱さん)

## 塾通いは当たり前。学習内容と費用の両面で最も現実的な選択を

塾に通わず、中堅以上の中学に合格するのは、事実上不可能に近いでしょう。教科に関係なく、中学入試問題はどれも小学校で習う学習とはかけ離れた内容になっているからです。とくに算数と理科に関しては、いずれ難関大学や医学部をねらえる学力の子がほしいという学校側の意図を反映して、難化傾向が強まっています。親が教えるにも限界があるし、家庭教師や個別指導は塾に比べて高額となり、負担が大きい。大手の進学塾はよく練られたカリキュラムと情報を持っており、受験事情に合わせた授業が受けられる。となると、塾に通うのが最も現実的で、賢明な選択になるわけです(塾に関しては22~23ページも参照)。(西村さん)

## Q5

中学受験させるには、  
塾に行かないと無理？